

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	梯上放水訓練実施中における、放水員が転落しそうとなった事例。
3. 体験した事例の中心的要素	梯上放水訓練を実施中に、放水反動力による梯体の不安定さを確認させようとしたが、思いのほか梯子がスライドしてしまい隊員を転落させそうになったこと。
4. 体験した事例の原因・理由	・予想範囲以上の梯子の動きであった。 ・梯体の接している面が、金属板であり滑りやすかった。 ・確保者が一名であった。 ・ロープ等で二次的な確保をとっていなかった。

【体験した事例の直接的原因について】

体験した事例の直接的な原因は、	
1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成23年9月4日 午後2時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：訓練塔の壁面
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	墜落・転落
7. 事例体験時の活動	演習訓練、[火災]
8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか	ポンプ隊訓練
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[32]歳、勤続年数[14]年、現場経験年数[14] 年、階級[消防士長] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[23]歳、勤続年数[1]年、現場経験年数[1] 年、階級[消防士] 同様の活動 [初めて]、任務 [隊員]
○当事者C	年齢[44]歳、勤続年数[24]年、現場経験年数[18] 年、階級[消防司令補] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [複数隊の隊長]
○その他(当事者が4人以上の場合)	機関員 26歳 勤続4年 現場経験4年 過去に1, 2度 消防士

11. 事例発生時の経過。

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	安定を確認した後、基底部の確保をとった。	
経過2	当事者B	筒先を持ち梯子に登梯し確保姿勢をとった。	
経過3	当事者C	放水できる体勢となっているかを確認した。	
経過4	その他	当事者Cの指示により放水を開始した。	
経過5	当事者B	徐々に筒先口径を大きくした。	
経過6	当事者A	梯子が動きだしたのを確認し、当事者Bと当事者Cに伝えた。	
経過7	当事者C	放水を中止するように指示した。	
経過8	当事者B	筒先で放水を中止することができず、慌てた。	
経過9	その他	当事者Cの指示でポンプ車からの放水を中止した。	
経過10	当事者B	梯子が傾き、転落の危険な状態となった。	
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できた。 集中力、注意力があった。 指揮者が適切に指示した。 たまたま、事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	はい

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	はい

○その他

l. その他の理由があった。

危険予測の範囲が不足していた。

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

--

○活動環境の対策について

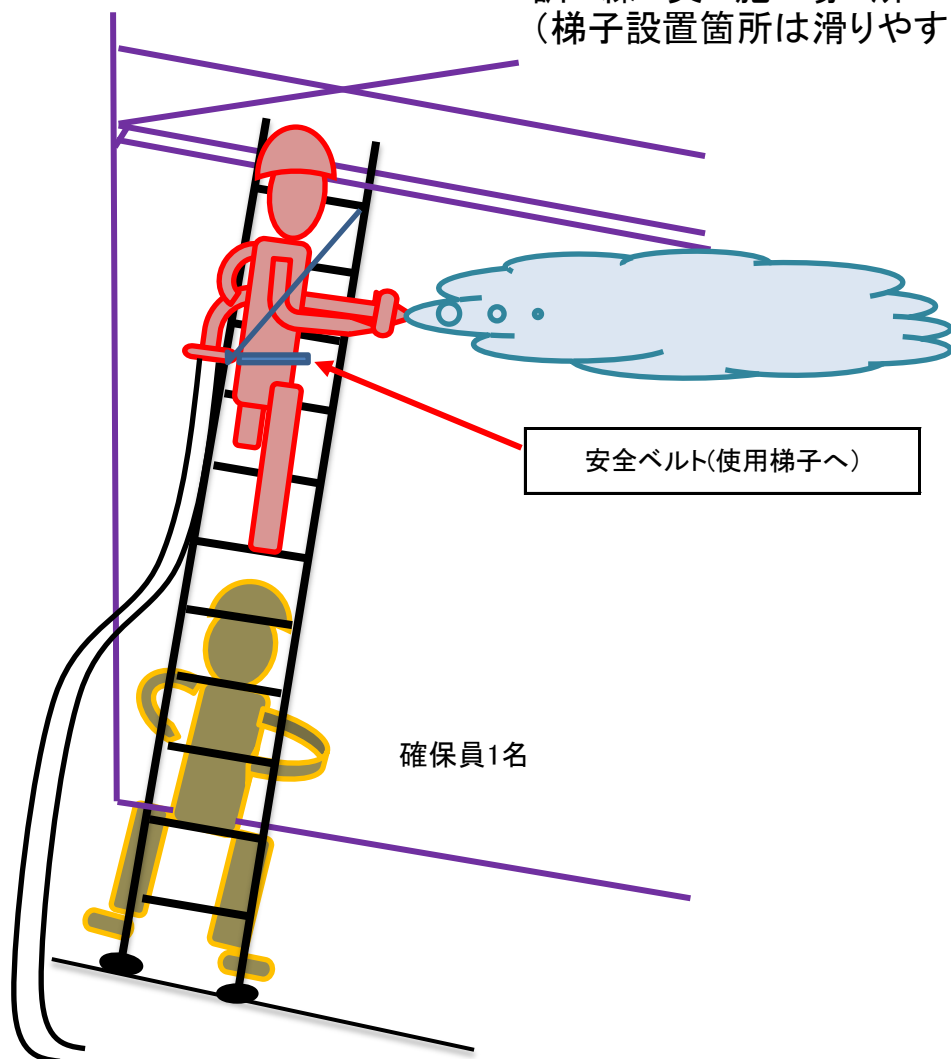
--

○指揮・情報伝達の対策について

--

梯上放水(通常時)

訓練実施場所～訓練塔
(梯子設置箇所は滑りやすいアルミ板)



梯上放水(反動力による横ずれ)

